

帯広市立啓北小学校 体育だより No. 2

できる
わかる
する
見る
つながる
体育
支える
かかわる

平成27年4月30日体育専科 永井悠介

幸せが伝わる ことば

幸せを感じた場面で口にする言葉は何でしょうか。口にするだけで、幸福が伝わってくる言葉の一つに、「見て、見て！」が含まれるのではないのでしょうか。

昨日まではつぼみの状態であった桜の花が咲いたとき、ふと見上げた空が美しい夕焼けで染まっていた時などは、発見したことに心がおどります。そして、それを分かち合うそばにいる誰かに向けての「見て、見て！」の言葉で、幸せが大きく広がります。

体育授業でも、そんな幸せな瞬間があります。

「見て、見て。先生、見てよ。」

6年生のマット運動の時間です。何度も開脚後転の練習をしていた児童が、動きの”ポイント”をつかみ、初めて開脚後転ができた瞬間にうれしさの声を上げました。思わず私も「うわー、やったね。担任の先生にも見てもらおうよ。」「見て、見て！」と、声を上げていました。

5・6年生の体育では、「マット運動」の学習を行っています。マット運動では、技を身に付けるために大切な体の使い方やポイントを知識として学習します。もちろん、友達との支え合いの方法や、安全にマット運動を行うための運動感覚づくりの行い方も学習します。しかし、マット運動では、技ができるまでの感覚を身に付け、思い通りに体が動いて技ができるようになったときには、大きな喜びを感じます。

冒頭で紹介した児童は、学習カードの中にも、できるようになった時の喜びを言葉として記録していました。国語や算数では学習したことや大切なことをノートに記録します。体育でも、できた時の体の感覚や喜びを忘れないように記録しています。

さて、体育授業をするときには、子供達が「できた！」喜びをたくさん味わってほしいと考えています。例えば、前転はできるのに、後転は苦手という児童は結構多いものです。前転と後転の大きな違いは、自分の進む方向が見えるか見えないかです。後ろが見えないことに恐怖心を抱くと、どうしても回転速度が上がらずに、途中で回転が止まり横方向に倒れてしまいます。

恐怖心を少しでも減らすために、授業では感覚づくりの場面で、「ゆりかご」という低学年の時に学習する動きを行います。ゆりかごを何度も行い、勢いよく後ろに体を倒す感覚が身に付くと、みんなで発見したり、試したりして見つけていく“ポイント”が生かされてきます。

マット運動では、技に必要な感覚づくりと技のポイントの共有を同時に行っています。



支え合い、応援、がんばりの3つがそろっています

つながる体育

する

見る

支える

広いグラウンドが

体育館に入ってくるみなさんの服装からも春の訪れを感じます。少しずつ半袖になる児童が増えてきたなと思っていると、ランニングシャツを着ている子、ハーフパンツをはいている子もいます。4月のはじめの頃は、体育館に来るたびに「寒いです。」と、言っている児童が多かったです。最近では、「体育館が蒸し暑いです。」との声まで聞こえてきます。

グラウンドの雪もすっかりとなくなり、先週からは休み時間にグラウンドが使えるようになりました。私も、春の暖かさとグラウンドのにぎやかさにさそわれて休み時間のグラウンドに出してみました。

児童のみなさんは、ボールで遊んだり、遊具で遊んだり、鉄棒の練習をしたりと、思い思いの遊びを楽しんでいました。ここでも、「先生、見て！見て！」と、幸せをたくさん分けてもらいました。

春なのに栗？を集めて見せてくれたり、靴のかかとを使って器用にドッジボール用のコートを作ったことを教えてくれたり、グラウンドにかいた大きな絵を見せてくれたり……。

たかがグラウンド、されどグラウンド。単なる広い空間も、みなさんの工夫次第で無限の遊び場に変身するなと感じました。



ラインを引いて、楽しいドッジボール



遊具でも楽しい遊び



つき山でも楽しい遊び

みなさんの中に、新しい学年が始まったころは、グラウンドにまだ雪がたくさんあったことを覚えている人はいませんか？

実は、みなさんが1日でも早くグラウンドで勉強したり、運動したりできるようにと、校務員の櫻井さんと高田さんが雪を散らしてくれていたのです。気づきましたか？

右の写真は、入学式の日みなさんがいつもより早く下校したあとに撮影しました。みなさんが近くにいたら、思わず「見て、見て！ありがたいね。」と言っていたことでしょう。



みんなのために、雪を散らしています



グラウンド、鉄棒、遊具、タイヤ、つき山とあちらこちらからにぎやかな声がひびいています